

【映画】

書類
番号

21

ぼけますから、よろしくお願いします。

～おかえりお母さん～

上映会&監督による講演

令和7年度横浜市南区人権啓発講演会

認知症が私たち家族にくれたギフト

第2弾

令和7年

12月4日(木)

14:00～

17:00

(13:30開場)

【事前申込・
入場無料】



©萩庭桂太

講師紹介

信友直子さん(映画監督)

1961年広島市呉市生まれ。
主要放送局で数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。
2018年に『ぼけますから、よろしくお願いします。』で長編監督デビュー
令和元年の文化庁映画賞・文化記録映画大賞など、数々の栄誉に輝く。

会場

みなみん(南公会堂/南区庁舎3階)

最寄駅: 阪東橋 徒歩8分(市営地下鉄ブルーライン)

黄金町 徒歩14分(京急線本線)

定員

400名(事前申込・先着順)

申込期間

令和7年10月14日(火)から令和7年12月3日(水)まで

※手話通訳・一時保育をご希望の方は、令和7年11月14日まで

申込方法

WEB申込フォームからお申込みください。

※EメールまたはFAXでも受付可能です。必要事項は裏面をご覧ください。



お申込みは
こちらをスキャン!

主催・お問い合わせ先: 横浜市南区役所総務課

電話: 045-341-1224 FAX: 045-241-1151 Eメール: mn-syomu@city.yokohama.lg.jp

南区イベント 人権

検索

【映画&講演会内容】

認知症の母と耳の遠い父との日々を、娘である信友直子監督がカメラを通して見つめた感動のドキュメンタリー。続編となる『ぼけますから、よろしくお願いします～おかえり お母さん～』では、母の介護と看取りを経て、家族の絆と命の尊さが描かれます。

「認知症が私たち家族にくれたギフト 第2弾」とし、映画制作の裏側や、ご家族とのかけがえのない時間について監督ご自身にご講演をいただきます。

「ぼけますから、よろしくね」と言い合える、互いに尊重し合う関係について、映画と講演を通じて一緒に考えてみませんか？

【Eメールでお申し込みの場合】

- ①氏名
- ②連絡先（Eメールアドレス・電話番号等）
- ③一時保育（1歳～6歳の未就学児）・手話通訳・車いす利用の有無を記載して、下記のEメールアドレスに送付してください。

FAXでお申し込みの方は以下を切り取りご利用ください。
WEB申込フォームは表面をご確認ください。

切り取り線

【FAX送信票】 FAX：045-241-1151

氏名（ふりがな） _____（ _____ ）

電話番号 _____

FAX番号（任意） _____

Eメールアドレス（任意） _____

配慮事項（必要な事項に✓してください）

☐車いす利用 ☐手話通訳希望

☐一時託児希望※0歳4か月～未就学児

（子供の人数__人 子どもの年齢_____）